



# 鶴岡市の地域公共交通 確保維持活性化の取組み



令和5年6月

山形県鶴岡市 企画部地域振興課



ユネスコ  
食文化創造都市

鶴岡

UNESCO Creative City  
of Gastronomy

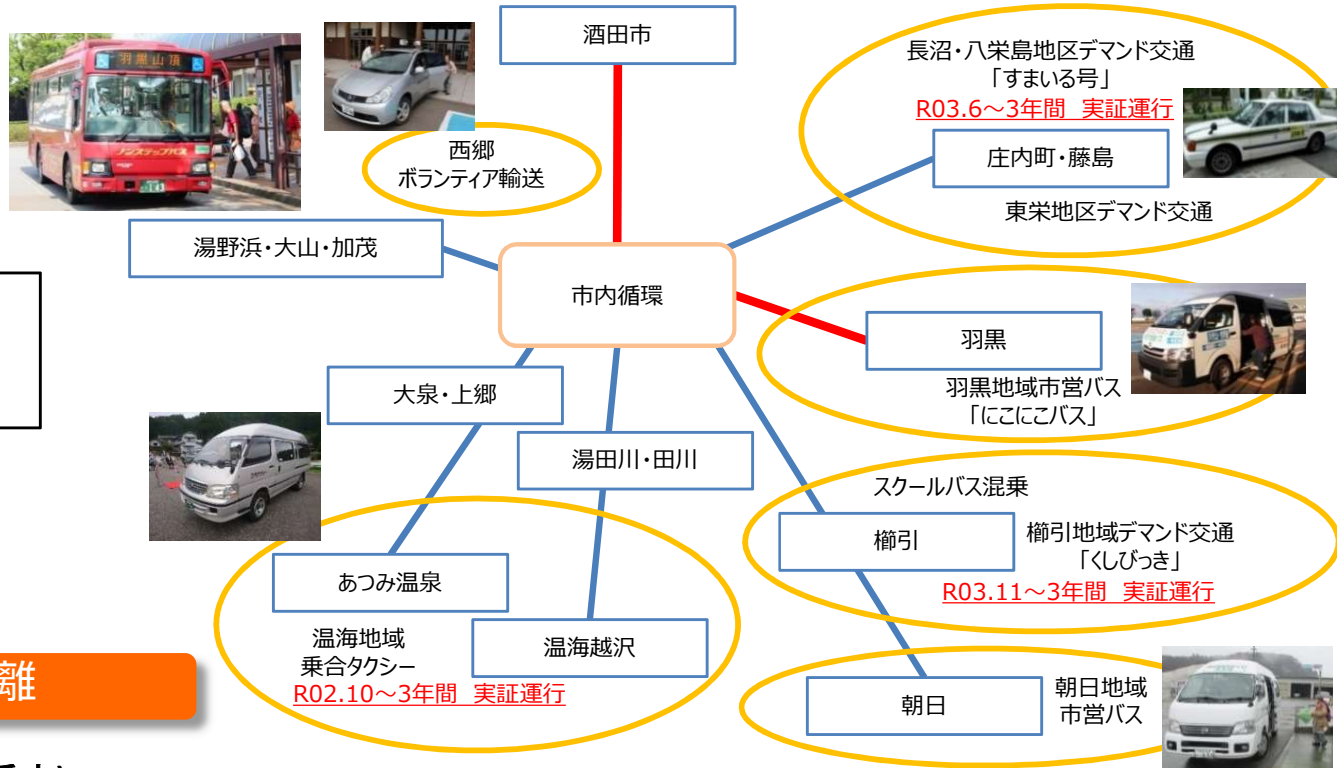


# 1. 現状と課題 / 運行状況と利用状況

## 公共交通の運行状況 (R05.4)

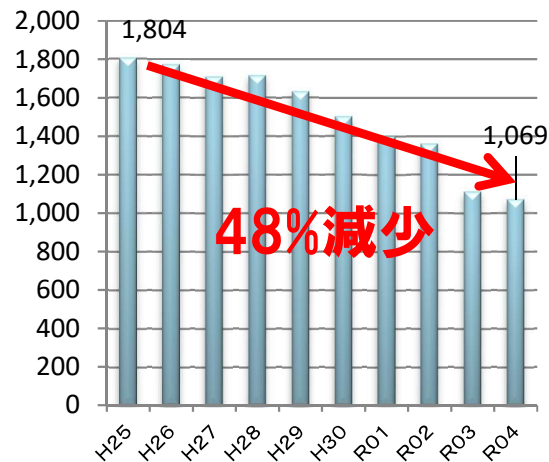
- 空路 : 庄内空港
- 鉄道 : JR東日本
- 路線バス : **1社 22路線**
- 市運営有償運送 : **5路線**
- タクシー : **12事業者**
- デマンド交通 : **6地区**
- その他 : 福祉有償運送(4法人3組合)  
乗合タクシー (月山号等)

黒字 2路線  
 国県補助 2路線  
 地域内フィーダー 18路線

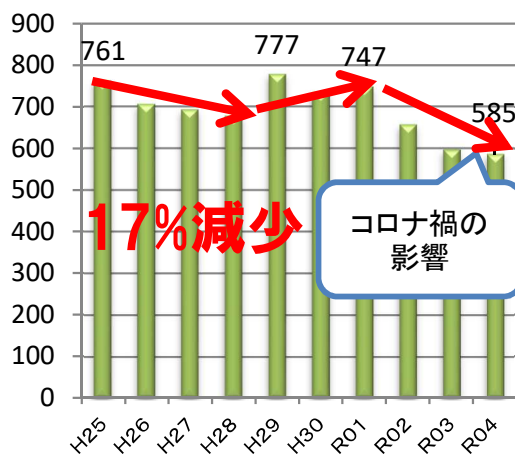


## バスによる輸送人員と実車走行距離

実車走行距離(千km)

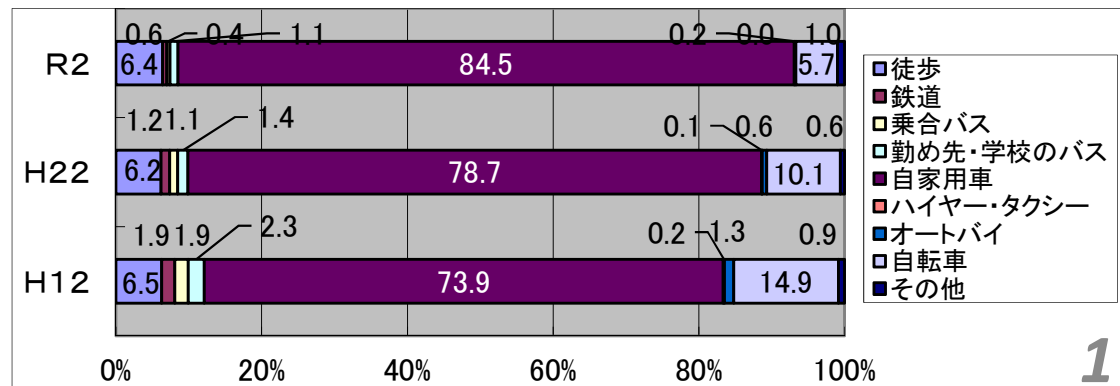


輸送人員(千人)



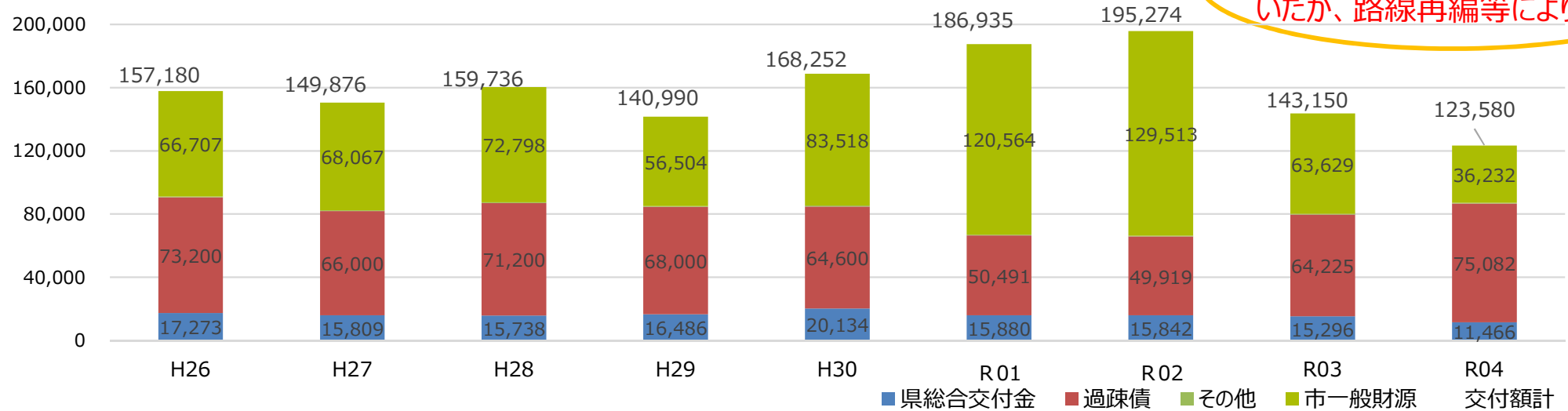
## 利用交通手段の分担率 (R2国調)

「自家用車」への依存度が84.5%と5.8ポイント上昇(H22→R2)



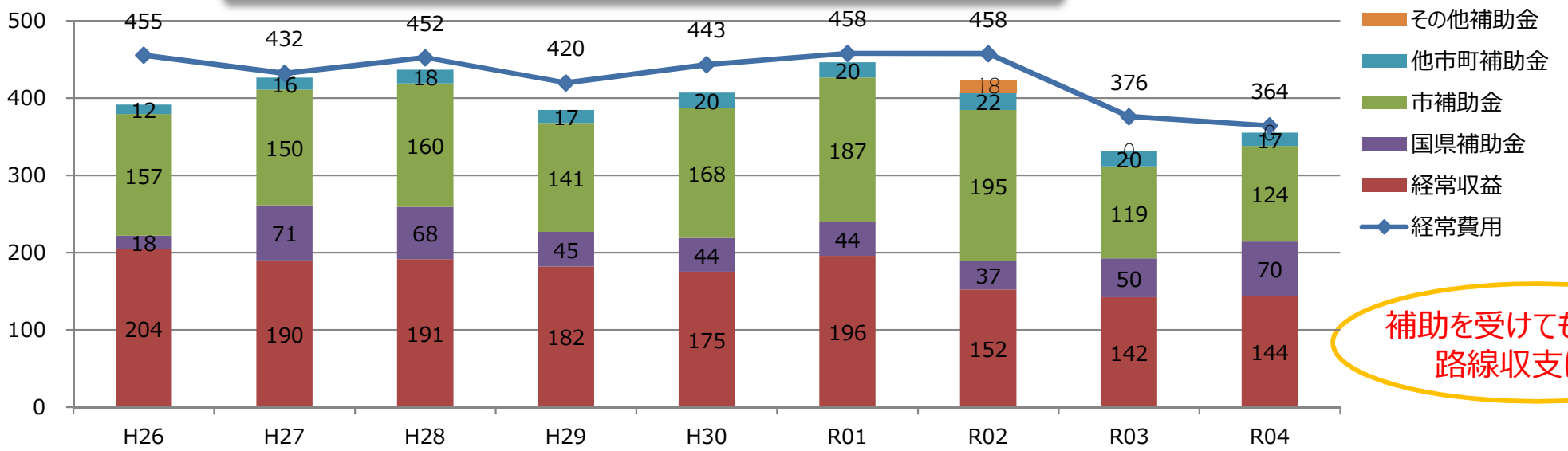
# 1. 現状と課題 / 路線バス運行補助金

市補助金交付金額と財源 (単位：千円)



市の財政負担は1.9億円を超していたが、路線再編等により減少

運行経費と経常収益+補助金 (単位：百万円)



補助を受けても事業者の路線収支は赤字

# 1. 現状と課題 / 運転手の状況

## 運転手実態調査

- 調査期間 令和3年3月
- 対象 市内交通事業者12社

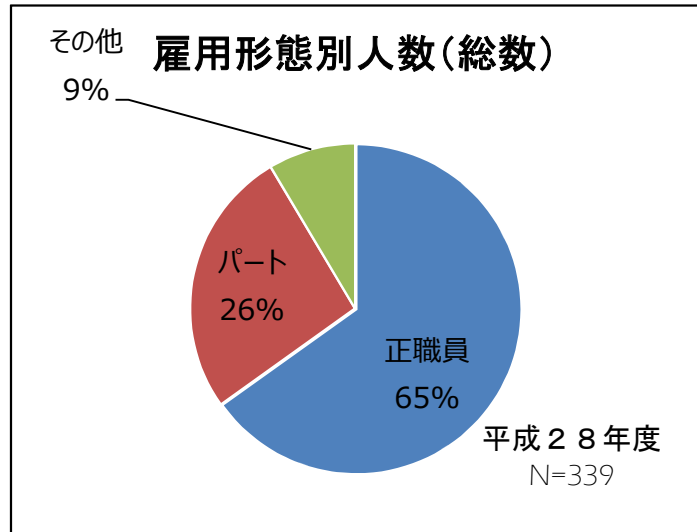
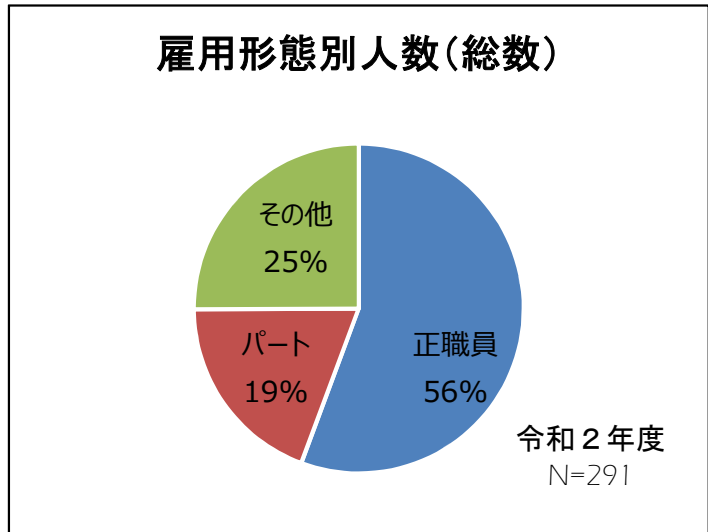
項目	全運転手
運転手の人数	291人
うち女性	13人

- ・全体で48人減少
- ・正職員率が9ポイント減少
- ・年齢では60代が一番多い
- ・70代が増加

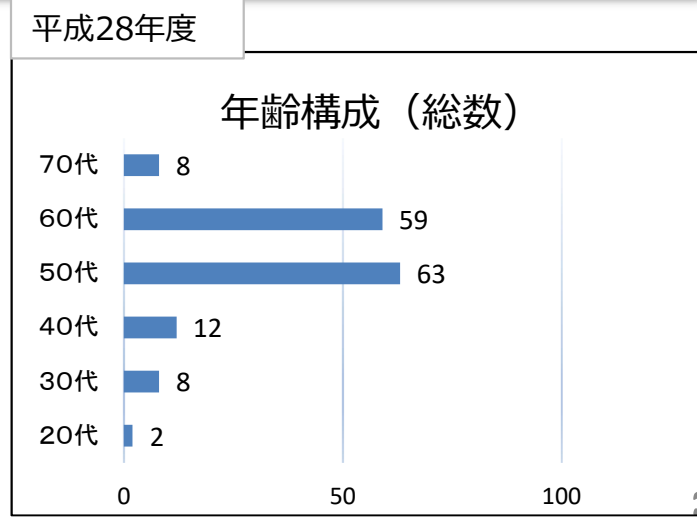
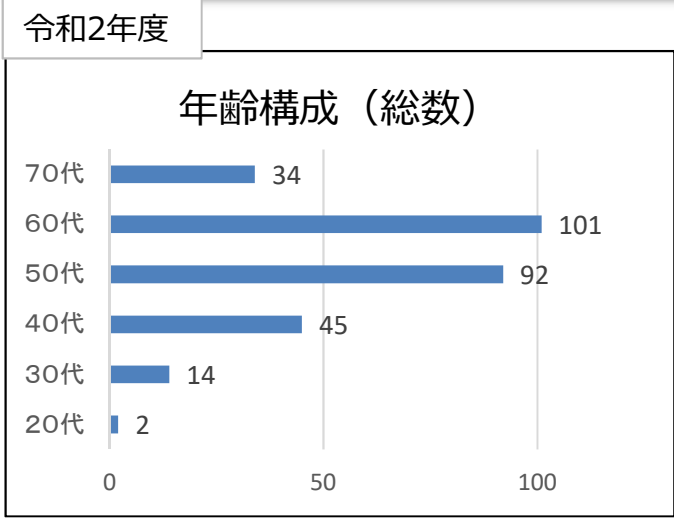
## 二種免許取得及び運転手確保対策

- **二種免許証取得助成制度**  
(県バス協会、庄内交通)
- **求人者と事業者のマッチング**  
(県ハイヤー協会)
- **教育訓練給付制度**  
(厚労省事業 免許取得の20%補助)

## 雇用形態別人数 (単位:人)

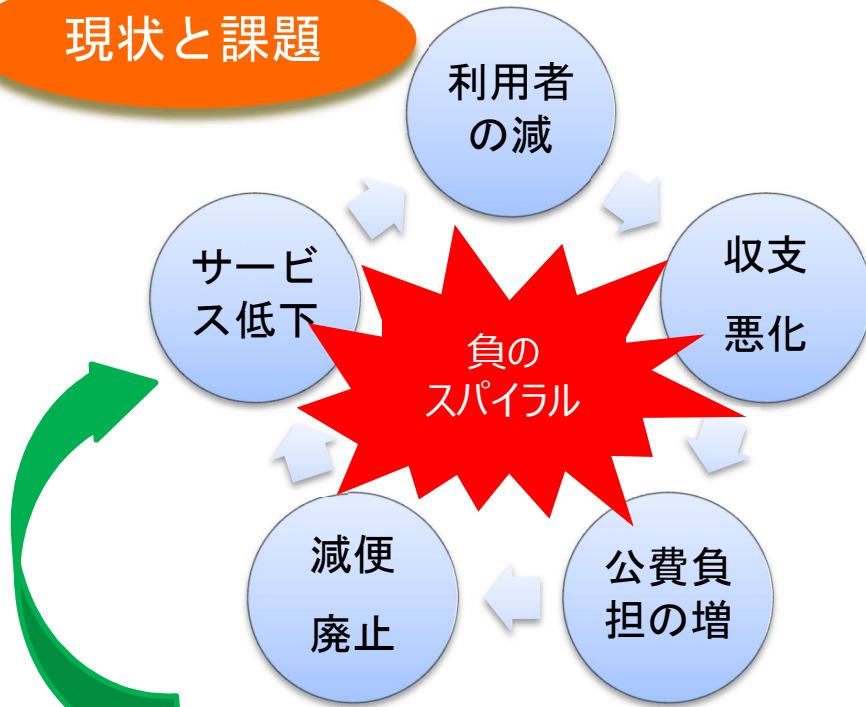


## 運転手の年齢構成 (単位:人)



# 1. 現状と課題 / 整理

## 現状と課題



公共交通利用者が  
微増も、コロナ禍が影響

## 背景

- 高い自家用車依存
- 人口減少・過疎化の進展
- 小中学校統廃合に伴うスクールバス利用の増加
- 運転手の不足・バス車両の老朽化
- 運賃の割高感や運行経路、便数、時間に対するニーズの変化

## 鶴岡市の公共交通を取り巻く課題

### ■ 公共交通を取り巻く9つの課題

- 課題1：居住環境としての魅力向上に向けた鶴岡市街地の公共交通ネットワークの利便性向上が必要
- 課題2：各地域から鶴岡市街地へのアクセス手段を“適切に”確保・維持することが必要
- 課題3：地域内交通の持続性を高めることが必要
- 課題4：通学などの移動利便性の維持に向けた広域的なネットワークの維持が必要
- 課題5：観光等の移動を踏まえた広域的ネットワークと路線バスの持続性の維持・向上が必要
- 課題6：市民及び来訪者等のそれぞれの移動に対応した「拠点」の設定が必要
- 課題7：公共交通の利便性向上の取り組みと合わせた周知・広報の実施が必要
- 課題8：利用しやすさ・分かりやすさの向上に向けたシームレスな利用環境の構築が必要
- 課題9：運転手不足への対応が必要



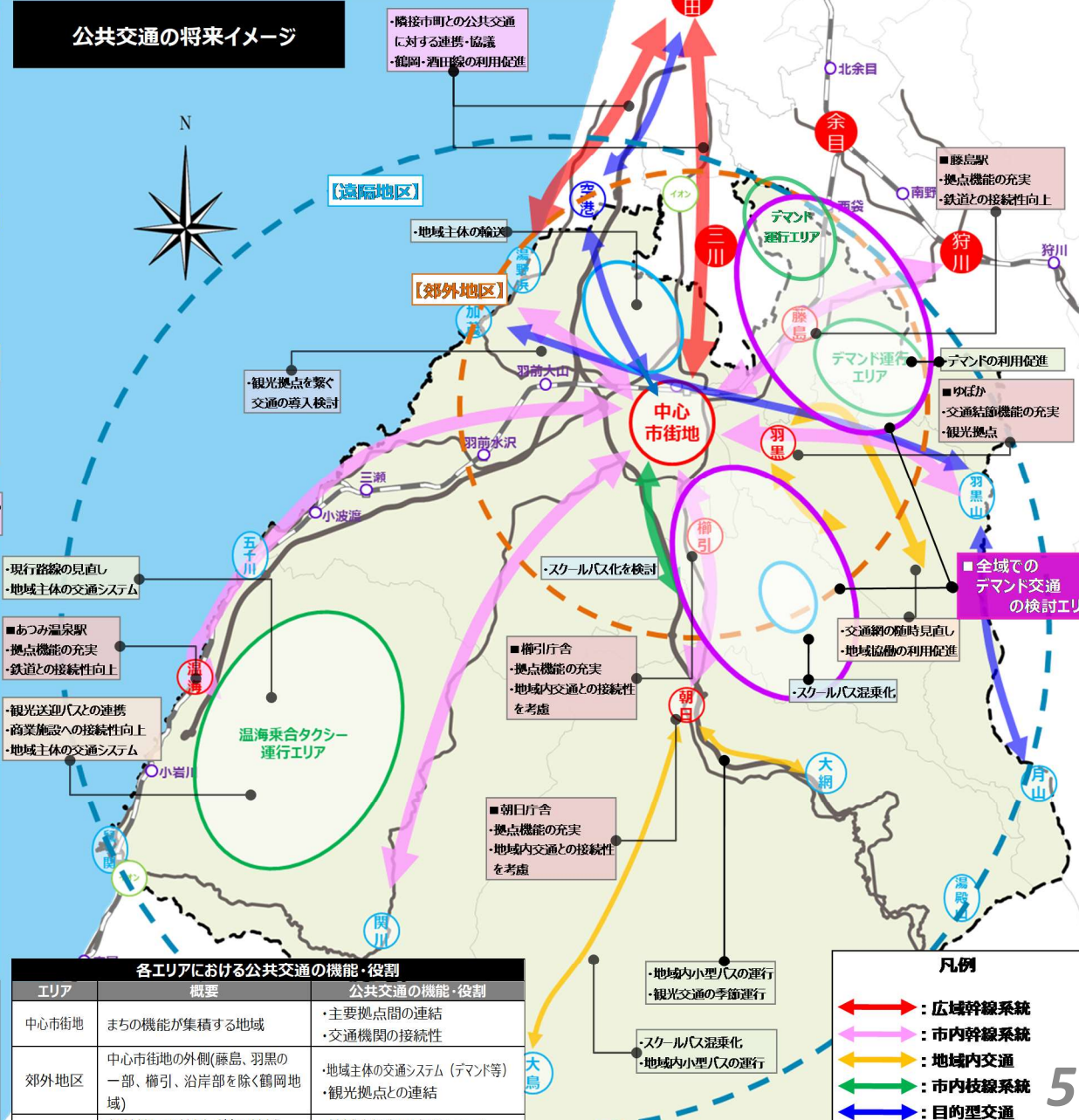
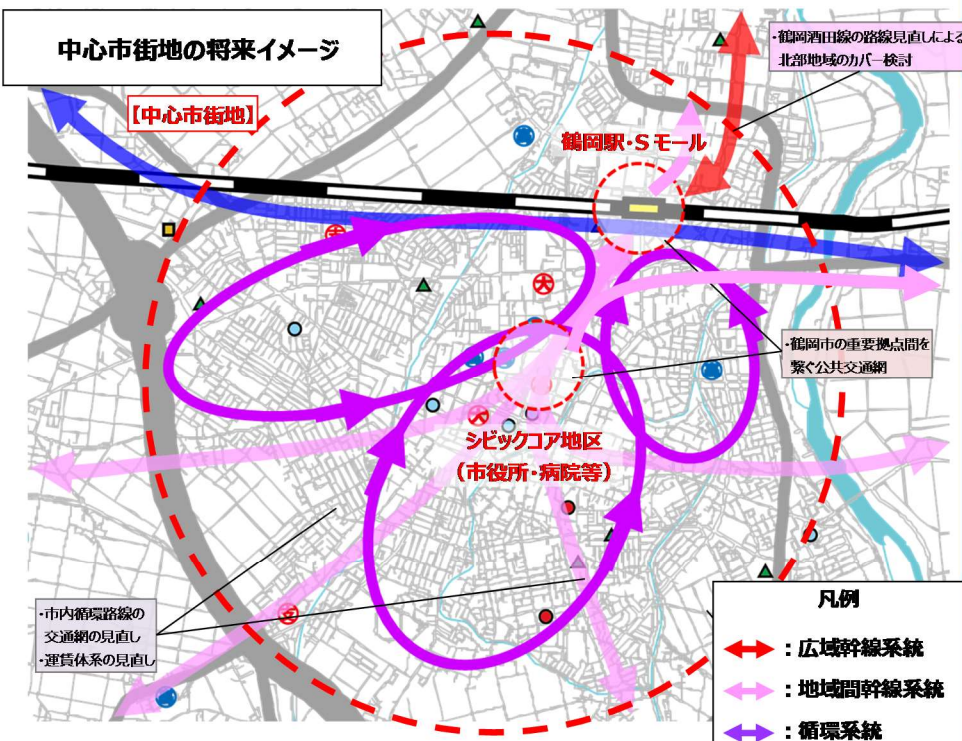


# 2. 鶴岡市地域公共交通計画 (R3-7)

■ 本計画の基本方針 (目指す将来像) 誰もが幸福を実感できる暮らしを支え、市民とともに育む「持続可能な交通」の実現  
 ～～住み続けられるまちを支える、交通ネットワークの構築～～

- 基本目標 1 : 地域の骨格を形成する「持続可能な」公共交通ネットワークの構築**
- 基本目標 2 : 「まちづくり」と連携した賑わいを創出する公共交通体系の構築**
- 基本目標 3 : 市民・来訪者の「交流」を支える広域移動・市内拠点間移動における利便性確保**
- 基本目標 4 : みんなでつくり、支え、「協働」して育む公共交通**
- 基本目標 5 : 「だれもが利用しやすい」公共交通環境の構築**

- 1. 交流活性化プロジェクト**
  - 施策 1-1 : 既存路線ネットワークの再編
  - 施策 1-2 : 新たな公共交通システムの導入
  - 施策 1-3 : 輸送資源を総動員した再編
  - 施策 1-4 : 交通結節拠点の設置
  - 施策 1-5 : 運賃等の料金制度の見直し
- 2. 市民協働プロジェクト**
  - 施策 2-1 : 地域と共に創り上げる交通サービスの導入
  - 施策 2-2 : 多くの機関と協働したサービス展開
  - 施策 2-3 : 公共交通について議論する場の創出
- 3. 環境改善・利用促進プロジェクト**
  - 施策 3-1 : 交通環境の改善
  - 施策 3-2 : 交通案内の改善・充実
  - 施策 3-3 : 公共交通に対する市民意識の醸成





# 3-1. 取組み事例/市民協働の取組み①

## 藤島東栄地区デマンド交通

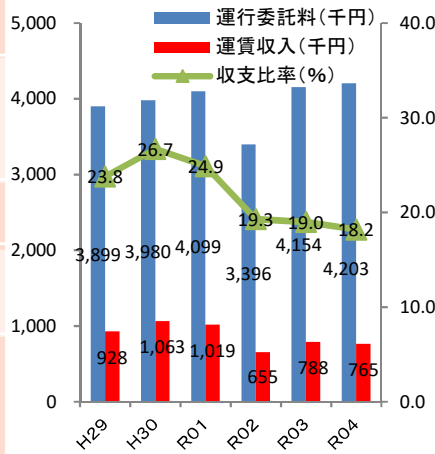
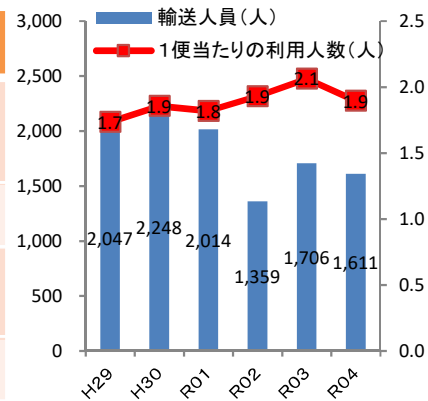
藤島地域では、地域の足を自ら創り守ることを目的とし、藤島東栄地区デマンド交通を運行しています。



### ふれあい号

#### > 運行概要

運行主体	藤島東栄地区デマンド交通運営協議会
運行形態	一般乗合旅客自動車運送(4条)
車両	受託事業者のタクシー 愛称「ふれあい号」
運行回数	月～土曜日・1日 往3便 復4便
地域負担	200円/世帯 (R3:577世帯)
利用料金	地区内300円、地域内400円、 市街地800円 (小学生等半額) 回数券(20回分で22枚綴り)
運行経緯	H21.1～路線バス廃止代替
協議会設立	H20.5 地区が主体となり設立
主な取組 (R04)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用のしおり全戸配布</li> <li>・活動センターへ大型看板の設置</li> <li>・高校生通学利用促進</li> </ul>



## 西郷地区ボランティア輸送活動

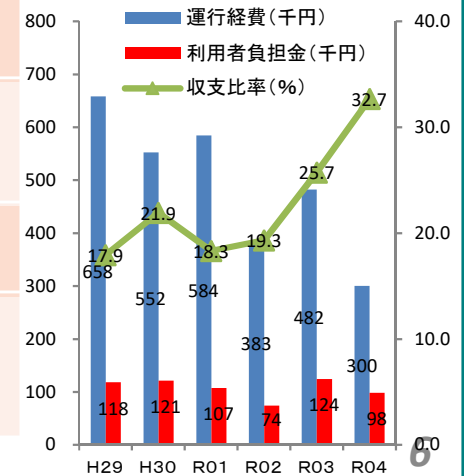
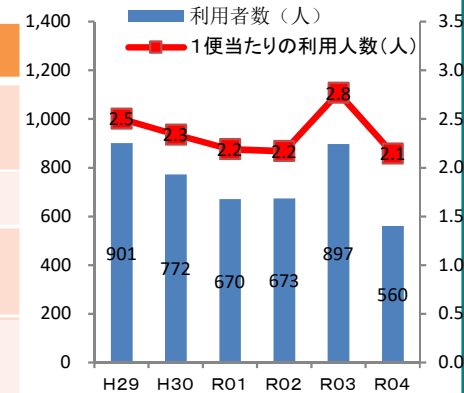
西郷地域では、路線バス廃止代替として、移動手段の無い高齢者を対象に、地域主体の輸送活動を実施しています。



### 西郷ボランティア輸送

#### > 運行概要

運行主体	西郷地区ボランティア輸送活動運営協議会
運行形態	地域主体のボランティア輸送
車両	5人乗り普通乗用車 (自治会調達)
運行回数	火、水、金曜日 1日3便(行き1便、帰り2便)
利用料金	地域内100円 市街地200円
運行経緯	H18.9末「鶴岡・浜中線」廃止 H24.3～実証運行開始 H27.4～本格運行
協議会設立	H24.3 西郷自治会が主体となり 協議会と運行委員会を設立
主な取組 (R04)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアドライバーの募集</li> <li>・適正な運行管理体制と車両点検の励行、安全運転講習の受講</li> </ul>



# 3-1. 取組み事例/市民協働の取組み②

## 羽黒地域市営バス

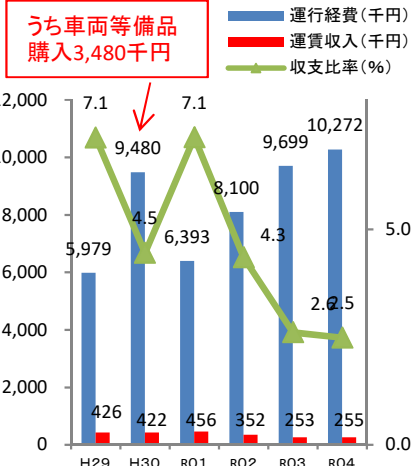
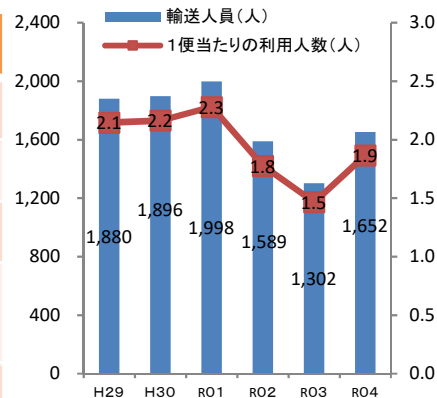
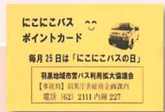
羽黒地域では、地域内を運行する市営バスの維持を目的に、沿線地域が主体となり利用拡大協議会を設立しています。



### にこにこバス

#### ▶ 運行概要

運行主体	鶴岡市
運行形態	市町村運営有償運送(79条)
車両	14人乗り・愛称「にこにこバス」
運行回数	2路線を隔日運行 週3日・1日6便
利用料金	100円～500円 (小学生等半額)
運行経緯	S58～路線バス廃止代替1路線 H19～同様に1路線追加
協議会設立	H24.12 沿線地域が主体となり羽黒地域市営バス利用拡大協議会を設立
主な取組 (R04)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントカード発行（温泉施設と提携）</li> <li>・経路検討、アンケート調査実施等</li> <li>・運行に関する意見交換会の開催</li> </ul>



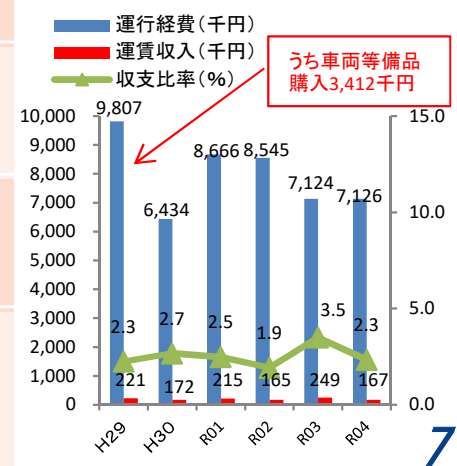
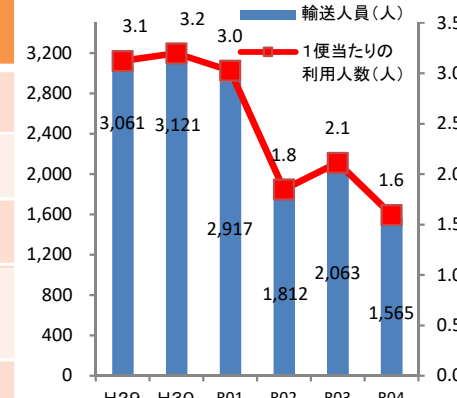
## 朝日地域市営バス

朝日地域では、路線バスの短縮に伴い平成29年4月から市営バスを運行し、地域の移動手段を確保するため、地域住民が主体となり利用拡大協議会を設立しています。



#### ▶ 運行概要

運行主体	鶴岡市
運行形態	市町村運営有償運送(79条)
車両	10人乗り、12人乗り
運行回数	2路線を運行 月～金・1日4便
利用料金	100円～500円 (小学生等半額)
運行経緯	H29年4月～路線バス4路線の縮減に伴い、市営バス「大鳥線」「田麦俣線」運行
協議会設立	H29.8 沿線地域が主体となり朝日地域市営バス利用拡大協議会を設立
主な取組 (R04)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜試験運行の実施</li> <li>・繁岡乗り入れの検討</li> </ul>





# 3-1. 取組み事例/市民協働の取組み③

## 櫛引地区宝谷・たらのき代スクールバス（混乗）

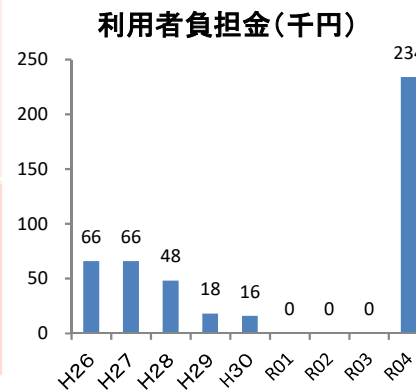
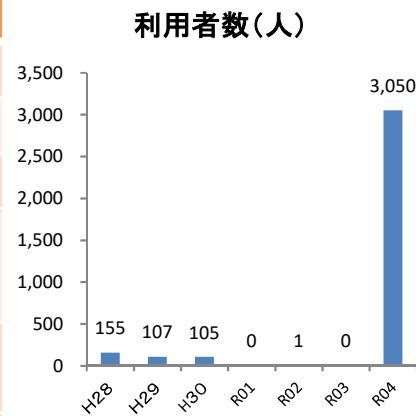
櫛引地域では、中学校のスクールバスを有効活用し、地域住民も利用できる「混乗」方式を導入・運行しています。



### スクールバス混乗

#### ＞ 運行概要

運行主体	鶴岡市
運行形態	市町村運営有償運送(79条)
車両	スクールバス(市有車)
運行回数	月～金曜日・2便 ※学校の長期休業期間は運休
利用料金	140円～320円 (小学生等半額)
運行経緯	S52.4末「宝谷線」廃止 S52.5～スクールバスの混乗開始 S58.3末「たらのき代線」廃止 S58.4～「宝谷・たらのき代線」としてS B混乗運行
主な取組(R04)	・田代地区児童乗車開始 ・区長会を通じて現状報告、利用呼びかけ ・市ホームページでのPR



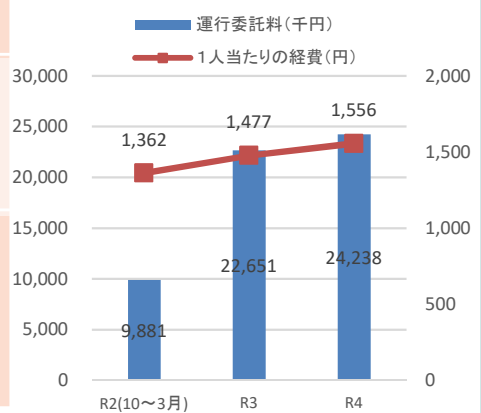
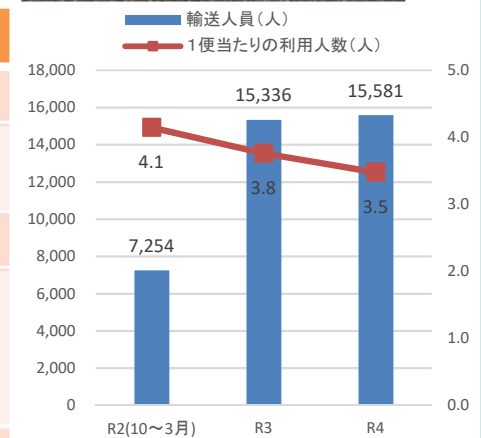
## 温海地域乗合タクシー【実証運行】

温海地域では、令和2年10月より庄内交通の廃止代替路線として、地域が主体となった乗合タクシーを運行しています。



#### ＞ 運行概要

運行主体	温海地域公共交通運営協議会
運行形態	一般乗合旅客自動車運送の実証運行(21条)
車両	受託事業者のタクシー
運行回数	・戸沢線 …月～金 ・平沢線 …月～土 ・関川線 …月～金 ・菅野代線…月・水・金
利用料金	ゾーン制 200円～400円
運行経緯	R02.9 庄内交通バス路線廃止 R02.10 実証運行開始 R05.10 本格運行開始予定
主な取組(R04)	・利用方法の周知 ・登録の呼びかけ ・集落座談会での説明



# 3-1. 取組み事例/市民協働の取組み④

## 藤島 長沼・八栄島地区デマンド交通【実証運行】

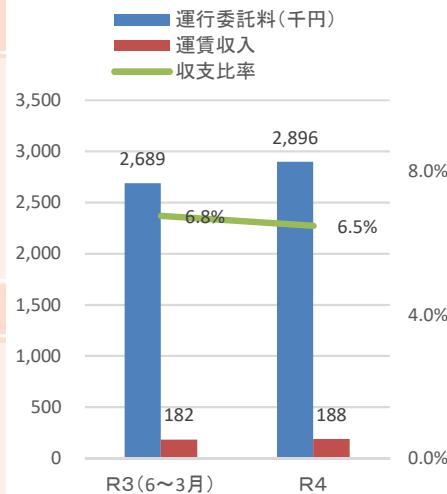
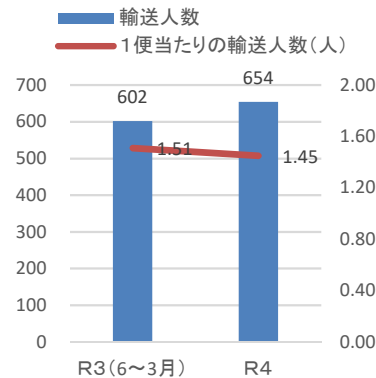
長沼・八栄島地区では令和3年6月よりデマンド交通の実証運行に取り組んでいます。

### すまいる号



#### ➤ 運行概要

運行主体	長沼・八栄島地区デマンド交通協議会
運行形態	一般乗合旅客自動車運送の実証運行(21条)
車両	受託事業者のタクシー「すまいる号」
運行回数	月～土曜日・1日 往3便 復3便 藤島・鶴岡ルート 月・水・金・土 庄内町～火・三川町～木
地域負担	200円/世帯 (R4: 517世帯)
利用料金	地区内200～300円 地域内300～400円 市街地800円 三川町400～500円 庄内町400～500円 ※市街地のみ回数券有
運行経緯	交通空白地帯の解消 (地区要望)
主な取組 (R04)	・利用のしおり全戸配布 ・町内会説明会の開催



## 櫛引地域デマンド交通【実証運行】

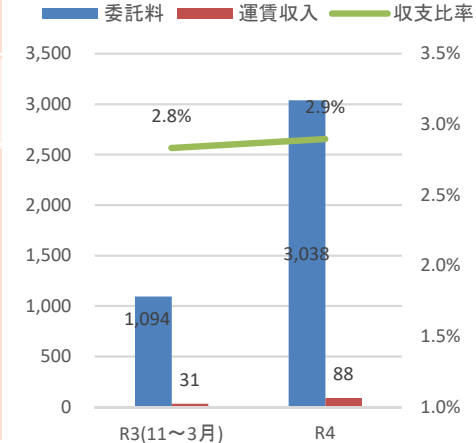
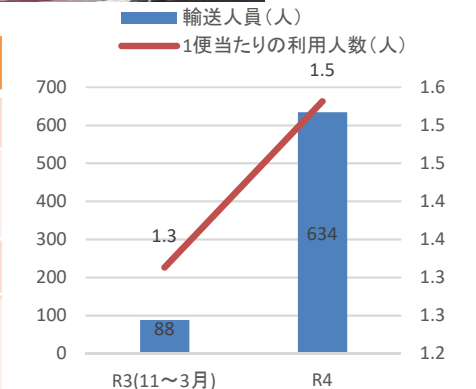
櫛引地域では令和3年11月18日に実証運行を開始し、地域と共に生活交通手段の確保に取り組んでいます。

### くしびっき



#### ➤ 運行概要

運行主体	櫛引地域デマンド交通運営協議会
運行形態	一般乗合旅客自動車運送の実証運行(21条)
車両	受託事業者のタクシー
運行回数	月～土曜日・1日 往2便 復2便 たらのき代線と宝谷線の交互運行
地域負担	100円/世帯 (R4:607世帯)
利用料金	区域内 300円 区域外 400円
運行経緯	5月 櫛引地域公共交通検討委員会設立 6月 検討委員会 (2回目) 交通事業者との協議 7月 住民・事業者ヒアリング 8月 検討委員会 (3回目) 運営協議会設立 11月 実証運行開始





## 3-2. 取り組み事例/ あったら楽しいな♪ こんなバス! 小学生「バスの絵」コンテスト開催

毎年、小学校の夏休みを利用し、バスの絵コンテストを実施しています。応募作品はSモールはじめ各地域で展示することにより、バスへの関心を目的としています。

「バスの絵」コンテスト応募件数

年度	学校数	応募作品点数
H27	31校	467点
H28	26校	431点
H29	26校	385点
H30	24校	398点
R1	26校	366点
R2	コロナ禍により夏休みが短縮されたため、未実施	
R3	22校	185点
R4	22校	303点

令和4年度は第8回「バスの絵コンテスト」を開催し、市内22の小  
学校から303点の作品が寄せら  
れました。



鶴岡市長賞 『なかよしどうぶつバス』



庄内交通社長賞 『Support bus』

## 3-3. 取り組み事例/ バスの乗り方教室・お試し体験 「知ってもらおう! 乗ってみよう!」

庄内交通(株)では、身近な乗物である路線バスを安全・安心に  
利用していただくために、学校や地域の団体を対象に「バスの  
乗り方教室」や「お試し体験バス」を開催しています。

○例年は高校・養護学校を中心に実施していたが、令和2・3年度は  
コロナ禍の影響により、実施できなかった。

○令和4年度は市内循環線の周知と共に実施

- ・1～6学区の約1万世帯への訪問
- ・つるおか大産業まつりなどのイベント等での周知
- ・コミセン単位の催しなどへお邪魔しての乗り方教室を実施した。



# 4. 利用拡大の取り組み/①高齢者等の外出支援

運転免許自主返納者を含む高齢者等の通院や買物など市民の日常生活の移動手段を確保し、心身の健康と社会参加を増進するとともに、公共交通の利用拡大に資する。

## 高齢者等外出支援事業「ゴールドパス」

これまで地域限定で実施していた「高齢者いきいきパス」を拡充し、平成30年4月1日から全市を対象に実施。

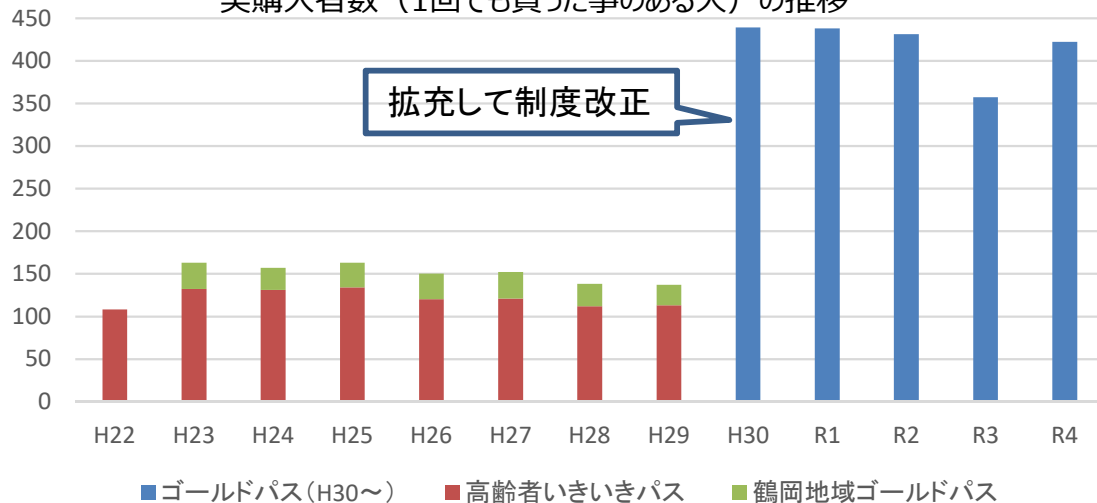
鶴岡市に住民登録がある「70歳以上の方」と「運転免許証を自主返納した方」を対象に、庄内交通(株)の路線バス定期券（庄内交通の路線バス運行区間のどこでも使用可※一部除く）を購入する際に、通常料金よりも安く購入できるよう市が補助。



※令和元年10月から定期券販売価格と自己負担額を改正

券種	通常料金	自己負担額
1か月券	10,370円	2,550円
3か月券	28,000円	7,650円
6か月券	56,000円	15,300円
12か月券	112,000円	30,600円

実購入者数（1回でも買った事のある人）の推移



## 運転免許返納者支援

	R02		R03		R04	
申請者数	490人		503人		423人	
内訳	バス	タクシー	バス	タクシー	バス	タクシー
	50人	440人	50人	453人	76人	347人

### タクシークーポン券の回収率

年月	配布枚数	回収枚数	回収率
令和2年度	4,400枚	3,866枚	87.9%
令和3年度	4,530枚	3,146枚	69.5%
令和4年度	3,500枚	2,866枚	81.9%
計	12,430枚	9,878枚	79.8%

※ 前年度以前のクーポン券も使用可

## 運転免許の自主返納を支援します

「タクシー乗車券」・「バス乗車カード」・「バス回数券」を交付します。【どれか一つ・1回限り】

○タクシー乗車券

⑤500×10枚 ※お釣り出ます

※山形県ハイヤー協会鶴岡支部に加入しているタクシー会社のみ利用可能です。



○庄内交通(株) チェリカ

総額：5,000円  
内訳④4,500円分の電子マネー（バス運賃に使用できます。）  
⑤500円：カード保証料（デポジット）



○鶴岡市市営バス回数券

⑤100円×5枚 ※お釣り出ません

※市営バス回数券に有効期限はありません。

【対象】 運転免許を自主返納された方でかつ公安委員会が交付する「申請による運転免許の取消通知書」に記載された取消日から起算して1年以内に手続きした方。

【窓口】 鶴岡市役所6階 防災安全課

【時間】 8時30分～17時15分まで（※土、日、祝日を除く）

【持参する物】 「申請による運転免許の取消通知書」と穴の開いた運転免許証を持参ください。

【概要】 窓口にて「運転免許自主返納支援事業交付申請書」を記入し、タクシー乗車券・チェリカカード・バス回数券のうち、いずれか1種類を5千円分交付します。



# 4. 利用拡大の取り組み/②高等学校等生徒通学費支援事業

## 制度の趣旨

地理的要因により通学費負担の大きい朝日、温海地域の通学費を支援し、高等学校等生徒通学費負担の平準化を図るとともに、過疎地域での子育て支援や定住促進を目的とし、併せて、減少傾向が続くバス路線等公共交通機関の利用拡大を目指す。

朝日地域及び温海地域の地域まちづくり未来事業として令和元年度から実施



## 事業の概要

自宅から高等学校等まで公共交通機関（バス又はJR）の定期券を購入し通学している生徒の保護者等を対象に、月額5,000円（年額60,000円）を自己負担額上限として、それを超えた通学費を補助する。

※ 自宅から最寄りのJR駅又はバス停留所までの家族等自家用車送迎に要する経費が、通学費に加算される場合有り（自家用車加算）

※ 通学費の算定にあつては、

◆ JR ⇒ 旅客通学定期(6ヶ月期限×2期分)

◆ バス⇒ キャンパス通学定期（1年）

を補助対象通学費の上限とし、それを基本に算定します。

## 補助のイメージ

【朝日地域の通学例】

新落合～内川通り 年額133,200円  
バス定期券（キャンパスパスポート1年）

自己負担額＝60,000円  
市補助金＝73,200円

【温海地域の通学例】

あつみ温泉駅～鶴岡駅年額82,920円  
JR定期券（旅客通学定期6ヶ月×2期）

自己負担額＝60,000円  
市補助金＝22,920円

## 令和4年度実績

地域	人数	金額
朝日地域	12名	915,275円
温海地域	74名	3,604,243円
計	86名	4,519,518円